

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果(公表)



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の質実向上に努めていきます。
これからも運動&学習療育あなたが宝モノ岸和田堺町教室をどうぞよろしくお願いいたします。

公表: 令和 7年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育 あなたが宝モノ堺町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材は適切であるか。	89%	11%		教員・教材は使用していないため、今後使用していく際には適切な教員・教材等を整えていきます。
	2 利用希望者に対して、職員の数配置は適切であるか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者の他に指導員として教員免許や保育士免許を取得している支援員の確保が出来ています。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	訪問支援に行った翌日に全スタッフに共有する場を設けております。	訪問支援に行った翌日に全スタッフに共有する場を設けております。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%		保護者様向け評価表の活用と共に、日々の連絡帳、LINE、聞き取り等を行い業務改善につなげています。
	5 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	随時、職員から意見に耳を傾け業務の効率化が図れるよう改善に努めております。	随時、職員から意見に耳を傾け業務の効率化が図れるよう改善に努めております。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	コンサルティング会社と提携し、常に利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。	コンサルティング会社と提携し、常に利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	次年度はさらに専門家を招いての研修や、外部研修も充実させ、より質の高い支援を提供できるように努めます。	次年度はさらに専門家を招いての研修や、外部研修も充実させ、より質の高い支援を提供できるように努めます。
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	6か月毎にモニタリング、アセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を作成した際には、職員全員に周知確認した上で再度検討する機会も設けています。	
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	訪問先の担当者様ともアセスメントを実施しております。また、原案作成後にも担当者様に確認していただき、実際にその内容で支援が可能なのかご意見をいただいております。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を職員間で必ず共有・確認しており、計画に沿った支援を行っています。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の行動観察、聞き取りなどでこどもの適応行動の状況を確認しています。また、必要に応じて、Vineland-II適応行動尺度を用いた検査を実施しております。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	保育所等訪問支援ガイドラインに基づき、お子様に必要な支援を適切に設定且つ具体的な支援内容を設定しています	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を職員間で必ず共有・確認しており、計画に沿った支援を行っています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前には職員間で打ち合わせの場を設けており、役割分担、注意や配慮が必要な点について確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後は、放デイの業務や送迎等もあり全員集まったの振り返りは難しい状況です。かわりに、翌朝の朝礼時の振り返りや共有ノート、日報、チャットコミュニケーションを通して、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有するよう工夫しています。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問支援を実施する前に、実際に訪問先に足を運び理念や方針について確認しそれに反することなく支援の提供を行っています。	
	18 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録を必ず取るようにしております。記録したことを他のスタッフに共有し、支援の見直しなどを行っております。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6か月毎にモニタリング、アセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	原則児童発達支援管理責任者もしくは実際に訪問に向いている支援員が参加しております。やむを得ず他の支援員が出向く際は、事前に内容を共有、確認を徹底に行うようにしております。	
関係機関や保護者との連携	21 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%		体制はあるが、仕方や内容等について把握できていない部分があるため、各職員が把握できるように連携・情報共有を行っています。
	22 就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	保護者様や相談支援事業所の担当者様を通じて、情報共有をさせていただいております。	できる限り担当者会議を行い関係機関で連携をとれるようにしています。あゆみファイルなどの共有も願っています。
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	63%	38%	専門機関と連携し、療育の共有、助言をいただいております。	専門機関が企画・開催している研修に参加できる機会があれば積極的に参加してまいります。
	24 (自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	75%	25%		協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達状況や課題について共通理解を持つよう努めています。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	相談のあった保護者には積極的に行っています。また外部講師を招いたセミナーを年1回ほど企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。	今後はペアレントトレーニング等の保護者支援ができる機会を積極的に企画してまいります。
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	訪問先に足を運び、事業の趣旨や訪問支援目的等について丁寧に説明しております。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	アセスメントにて保護者様のニーズ、要望を確認しております。また、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて計画を作成しています。	

保護者等への説明等	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画の立案時には保護者様に説明を行い、同意いただけるように努めております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	電話、連絡帳、メール、LINE等でいつでも相談できる環境を構築しており、日々の保護者様からの子育ての悩み等の相談に対応しています。今後、さらに保護者様が相談しやすい環境を作るため、定期的な面談等を計画してまいります。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		療育参観を企画し保護者同士の連携を支援して参ります。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	随時、電話・連絡帳・メール・LINE等で相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。また、相談窓口を設けており、そのことは周知しています。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行っています。またスタッフに定期的に注意喚起しています。	
訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもには視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	今年度は訪問先の学校より事業所見学があり、支援内容の相談や助言を行う機会を設けました。今後も訪問先からの相談等に依る体制を整えて、必要な助言や支援を行っていきます。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	訪問先の学校と担当者会議を行い、今後の支援について話し合う機会を設けています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	保護者様には必ず訪問実施後に連絡帳やLINE等で支援内容の共有を行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行っています。またスタッフに定期的に注意喚起しています。	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問先の施設から相談があった場合は、専門的な助言を行い適切に対応しております。相談ができればやすいように信頼関係を築くように訪問先の方々と関わる意識も取り組んでいます。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知しています。2か月に1回必ず避難訓練を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を実施し、研修や訓練を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について各教室の担当職員同士で検討しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	岸和田市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。参加した職員を通してスタッフにも内容が広く共有できるようにしています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	現状、該当されるご利用者様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みを構築しています。	